

UVインキ

UV 蛍光 P DX シリーズ

『UV 蛍光 P DX』シリーズは、紫外線で硬化する蛍光インキで幅広い印刷用紙に利用可能です。従来のPシリーズの欠点であったインキの保存安定性が改善され、高濃度となっています。

■ 特徴

- ▶ 耐地汚れ適性が良く、印刷適性に優れる。
- ▶ 高濃度である。
- ▶ 蛍光発色が良い。
- ▶ 密着性が良い。
- ▶ オフセット印刷およびドライオフセット印刷、樹脂凸版印刷に使用可能。

■ 設定色

801 ブルー ・ 802 グリーン ・ 803 イエロー ・ 804 オレンジ ・ 805 レッド
806 ピンク ・ 807 マゼンタ

■ 使用上の注意

- ▶ そのまま使用できるように設計していますが、粘度調整を行なう場合は“UV DG レジューサー”（5%まで）をご使用ください。
- ▶ 原反の種類によっては接着し難いものもありますので、接着性を確認の上ご使用ください。
- ▶ “UV 蛍光 P DX”シリーズは特殊な樹脂で構成されており、一般UVインキとの相溶性は良くありません。一般UVインキと混合使用する場合は保存ができませんので、使い切るように作製量を調整してください。尚、混合使用する場合は、“UV HY-BD”シリーズを使用してください。
- ▶ 蛍光ベース中に含まれる鉱物油成分により、原反の種類によっては膨潤する場合がありますので、確認の上ご使用下さい。
- ▶ 蛍光インキは耐光性が良くありませんので、過剰なUV照射を行うと変退色する場合があります。UV照射量にご注意ください。
- ▶ 一般UVインキより乾燥能力は劣る傾向にありますので、インキの盛り過ぎに注意が必要です。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用下さい。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。
取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。
皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2022/01/19 No.W-1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。